

株主・投資家の皆様へ

第30期

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日

トランスコスモス通信

トランスコスモスは1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めてまいりました。現在では、お客様企業のコスト削減と売上拡大を支援するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを、アジアを中心に世界18カ国・133の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。さらに、世界規模でのEC市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界42カ国の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。

トランスコスモスは高品質なBPOサービスを世界規模で提供する、お客様企業の「Global BPO Partner」を目指しています。

トップメッセージ

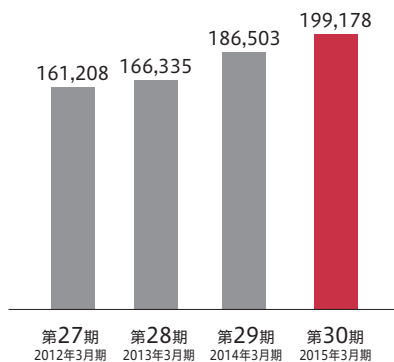
株主・投資家の皆様には、
平素より格別のご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに株主・投資家の皆様へのご挨拶と、
2015年3月期
(2014年4月1日～2015年3月31日)の
業績に関するご報告をいたします。

● 連結売上高

199,178 百万円 **UP**
前期比 **6.8%**

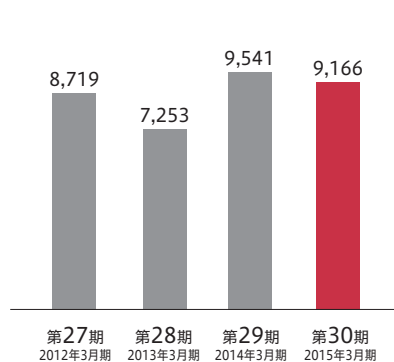
(単位：百万円)



● 連結営業利益

9,166 百万円 **DOWN**
前期比 **3.9%**

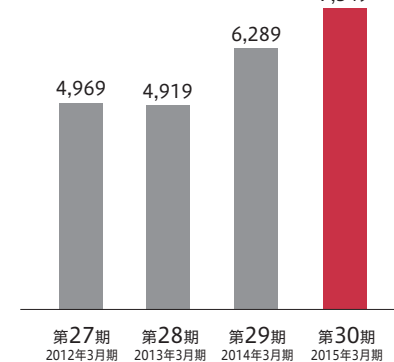
(単位：百万円)



● 連結当期純利益

7,349 百万円 **UP**
前期比 **16.9%**

(単位：百万円)



当期の決算の概要について

当社グループの関連する情報サービス業界では、引き続きコスト競争力強化、業務効率化といった企業ニーズを背景に、BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）サービスの需要が拡大傾向にあります。また、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のEC（電子商取引）ビジネス展開が加速しており、こうした動きに伴うサービス

需要が顕在化してきております。

このような状況の下、当社グループは、コンタクトセンター、バックオフィス、設計開発、インターネットプロモーションなどの業務を中心としたBPOサービスを幅広い業界業種のお客様企業に提供し、受注の増加につなげました。一方、さらなる成長に向けた取り組みとして、グローバルでのBPOサービス需要に対応していくためのグローバル展開の推進とECワンストップサービス体制の強化に注力しました。

当期の取り組みについて

具体的には、まず欧州初として英国・ロンドンに拠点を設立しました。欧州市場向けECワンストップサービスの提供や、欧州企業のアジア市場への進出支援、さらに現地のECやBPO関連企業などとの資本・業務提携も推進していきます。さらにASEAN市場での事業展開も加速しております。タイにおいては、タイ大手財閥サハグループとの資本・業務提携の

用語解説

①SSP→Supply Side Platformの略で、オンライン広告の広告枠を提供している媒体社側の収益最大化のための広告管理ツールのこと。これに対して、広告を出稿する広告主側を支援するシステムは、DSP(Demand Side Platform)と呼ばれる。

トピックス



実施や、新たに200名規模のバンコク第二センターを開設するなどタイ国内市場向けBPOサービスの展開を推進しております。また、株式会社高島屋と合併会社「TAKASHIMAYA TRANCOSMOS INTERNATIONAL COMMERCE PTE. LTD.」をシンガポールに設立しました。日本の良質な商品を海外に向け提案・供給する、卸・小売販売事業を展開していきます。また、欧米商品の日本向け越境ECサイト「SPACE 879」をオープンさせるなど、引き続きECワンストップサービス体制の強化に取り組んでおります。

今後の取り組みについて

引き続き、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。また、今後も高い成長が見込まれるASEAN市場において、お客様企業のEC事業を支援するグローバルECワンストップサービスの展開を強化していきます。

株主の皆様へのメッセージ

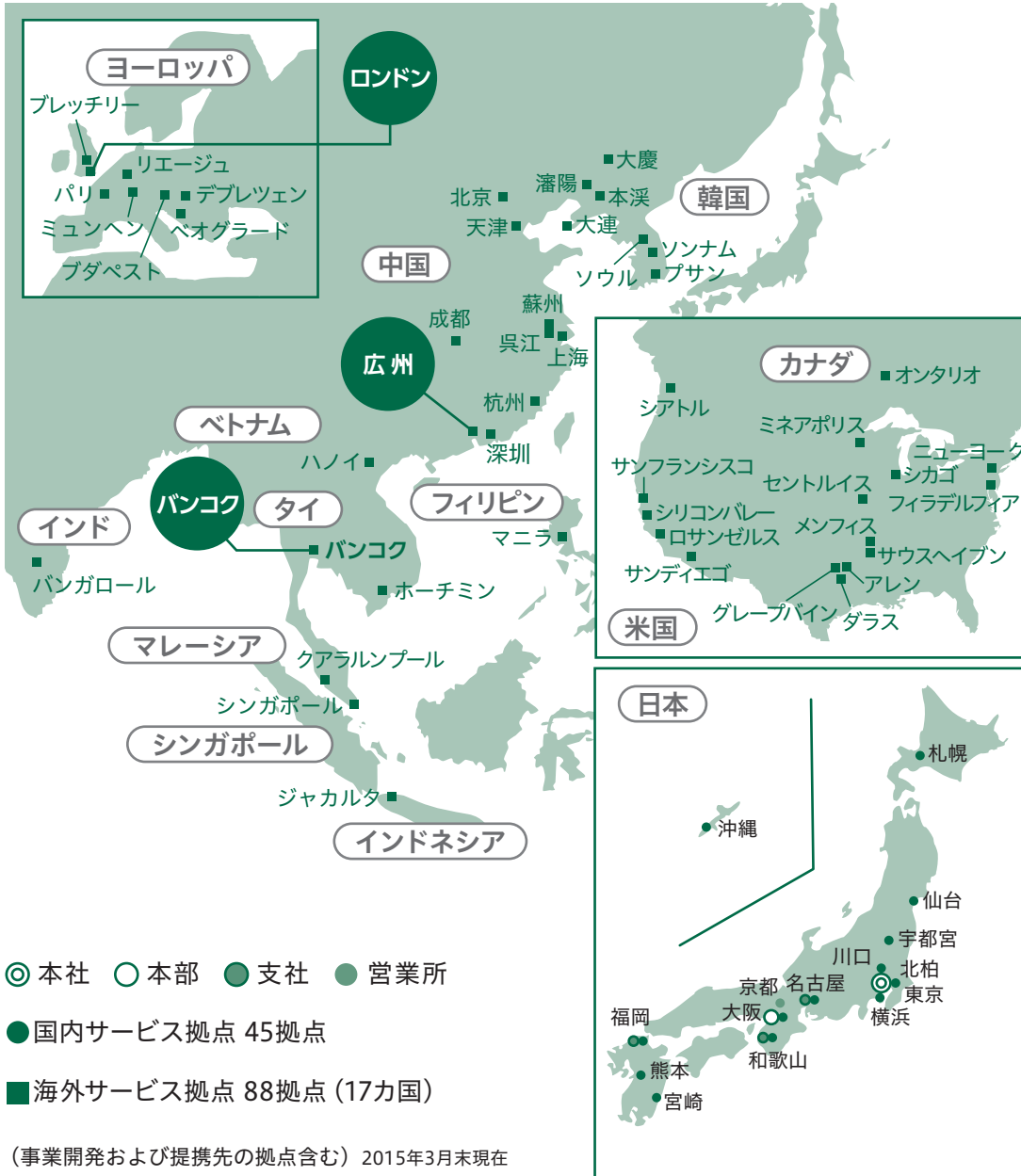
当期の配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株当たり54円とすることを第30回定時株主総会でご承認いただきました。また来期の配当につきましては、現時点では未定としておりますが、具体的な配当金額が決定した時点で速やかに公表いたします。

引き続き、株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2015年6月
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

国内・海外拠点 世界18カ国133拠点で展開



新規拠点の紹介

海外サービス拠点



BPOセンター広州
(大宇宙商業服務(蘇州)有限公司 広州分公司)
2014年12月設立
設計・開発支援サービスを提供



TRANSCOSMOS (UK) LIMITED
2014年11月設立
ECワンストップサービスを提供、EC・BPO
関連企業との資本・業務提携を推進



バンコク第二センター
200席

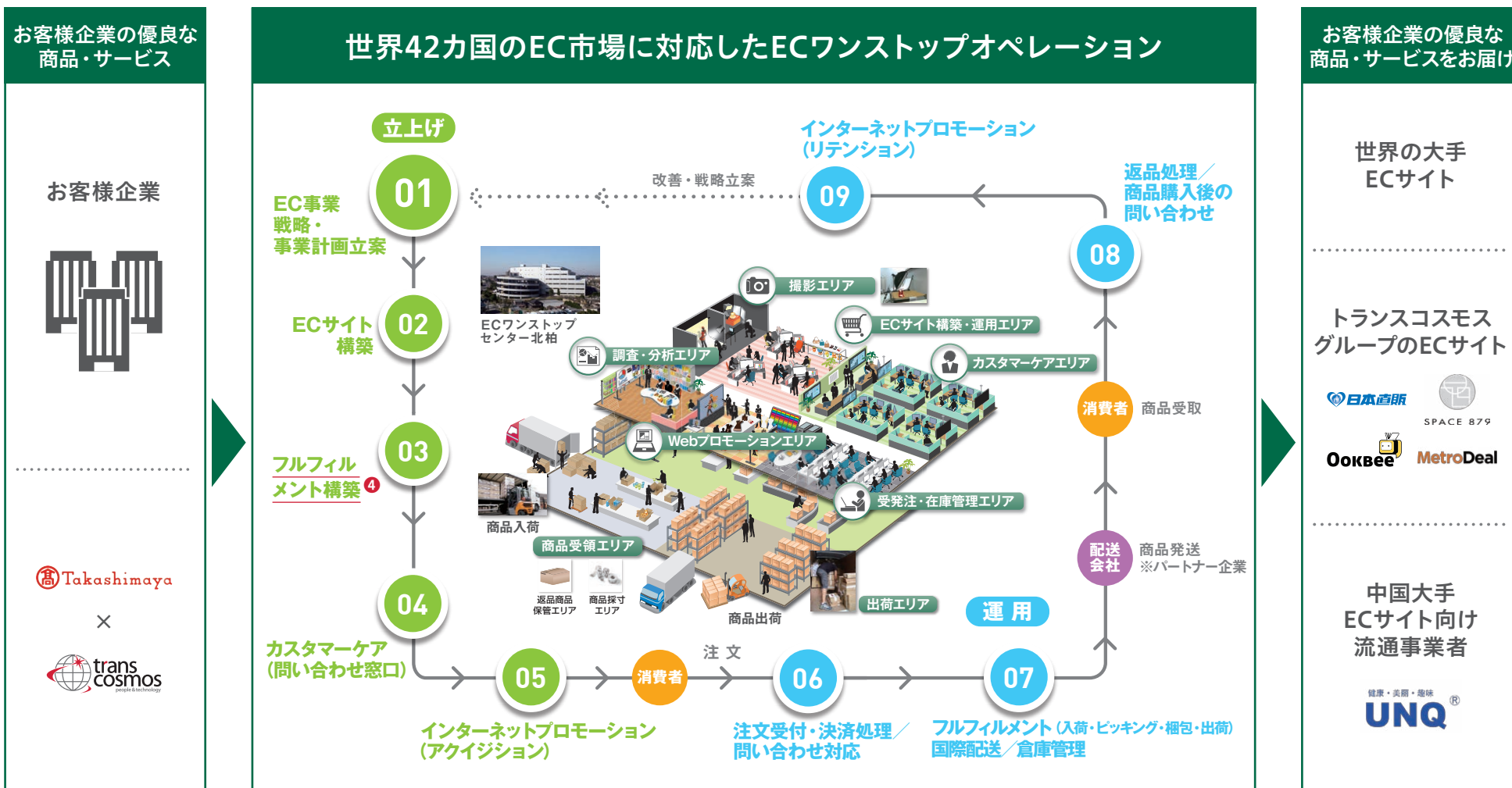


総合CRMアウトソーシングサービス、タイ国内向けコールセンターサービス、
オフショアコールセンターサービス、多言語コールセンターサービス、
デジタルマーケティングサービス、ECサービスを提供

次の成長に向けた取り組み ～グローバルECワンストップサービス

当社は、お客様企業の優良な商品・サービスを世界42カ国の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。2014年度の世界EC市場は、約150兆円と言われていますが、当社はこの巨大なEC市場において独自のサービスを展開し、次の成長の柱として新たなビジネスチャンスの獲得を目指しています。

グローバルECワンストップサービスの流れ



用語解説 ⁴フルフィルメント構築→商品を入荷・保管するための物流センター・受注管理システム・倉庫管理システムを構築

2014年度は、お客様企業のEC事業での売上拡大を支援するため、アジア市場を中心に、商品・サービスの“売り場”であるECサイトや流通・販売ノウハウなどを有する各国のトッププレイヤーとの提携、自社ECサイトの開設などを推進しました。

高島屋との合併会社設立 TAKA TRANS

日本の良質な商品を海外に向け提案・供給する、卸・小売販売事業を行う合併会社「TAKASHIMAYA TRANCOSMOS INTERNATIONAL COMMERCE PTE. LTD.」を株式会社高島屋と設立しました。
まずは、ASEAN諸国および中国での提供を予定しています。



世界の大手ECサイト

当社は、中国最大手ECモール「TMALL」と2009年12月に戦略的パートナーシップ契約を締結しており、TMALLから2014年下半期の優れたTMALL Partnerとして最高位のゴールド認定を2期連続で2つ取得しています。さらに楽天市場をはじめとした世界各国の大手ECサイトへの出品・出店などをサポートする体制も確立しており、お客様企業の売上拡大を支援しています。

トランスコスモスグループのECサイト



当社グループが保有するECサイトを通じて、お客様企業の商品・サービスの販売を支援しています。直近では、連結子会社で通信販売事業を展開する日本直販株式会社を2015年7月(予定)に吸収合併することを決定しました。この合併を通じて、同社が有するブランド力、販売チャネル、通販事業のノウハウやオペレーション体制などの事業基盤を最大限に活用していきます。また欧米の商品を日本向けに販売する越境ECサイト「SPACE 879」を2015年3月にオープンしています。



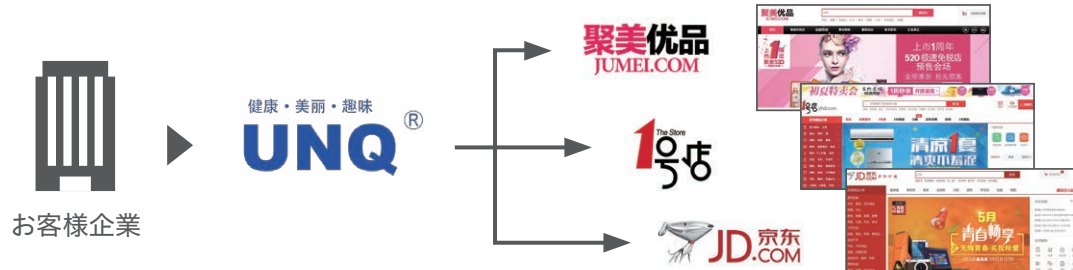
日本直販
<http://www.666-666.jp/>

SPACE 879
<https://www.space879.com/>

中国大手ECサイト向け流通事業者



ECサイト向け流通事業者「UNQ」と提携しました。これにより新たにJUMEI、一号店、JD.comなど中国の大手ECサイト向けに、卸・販売促進を行うことが可能となりました。

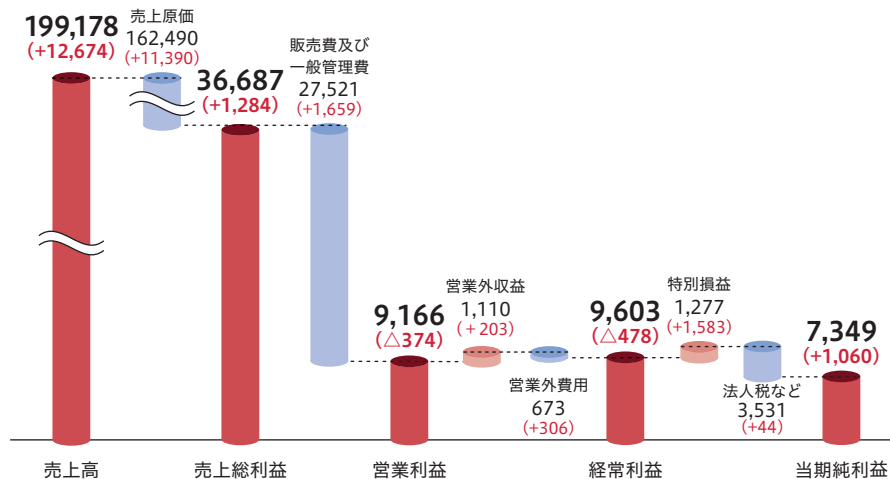


連結財務情報

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。
 ※()内数字は前期比増減

売上高

コンタクトセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、デジタルマーケティングサービス、ECワンストップサービスなど主力事業である単体サービスをはじめ、BtoB国内子会社、BtoB海外子会社の受注が好調に推移し、売上高は前期比6.8%の増収となりました。

営業利益

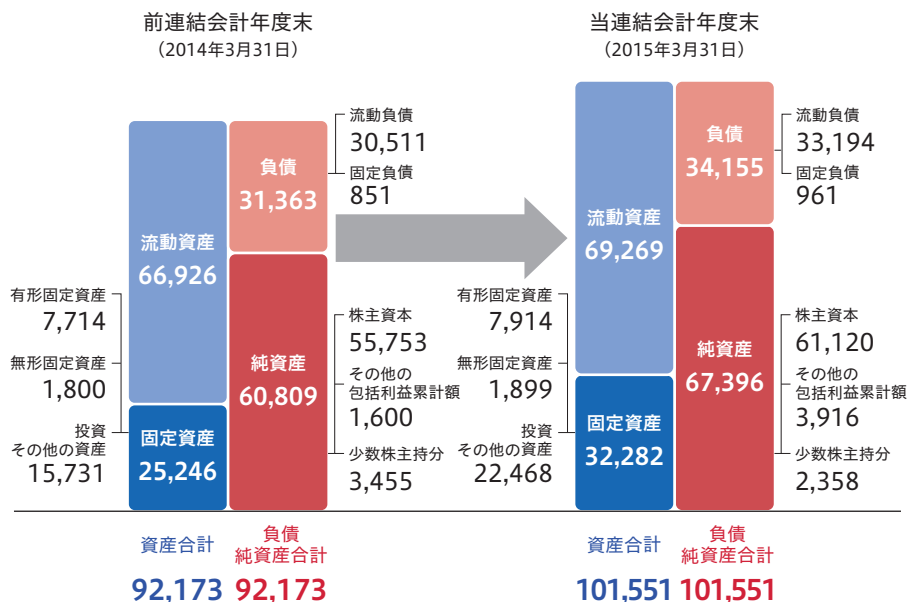
好調な需要拡大に伴い主力の単体サービスの収益性は改善したものの、BtoB海外子会社の円安による影響や、一部BtoC子会社を連結除外した影響などにより、営業利益は前期比3.9%の減益となりました。

当期純利益

営業利益・経常利益は減益となりましたが、一部BtoC子会社の売却益や中国関連会社の新規上場に伴う持分変動利益などを特別利益として計上したことにより、当期純利益は16.9%の増益となりました。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



総資産

総資産は、前連結会計年度末に比べて9,378百万円増加しました。このうち流動資産は、財務体質の改善により現金及び預金が増加したことなどにより2,343百万円増加しました。固定資産は、関係会社株式の新規取得による増加や投資有価証券の上場株式の時価評価による増加などにより7,035百万円増加しました。

負債

負債は、主に未払消費税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2,791百万円増加しました。

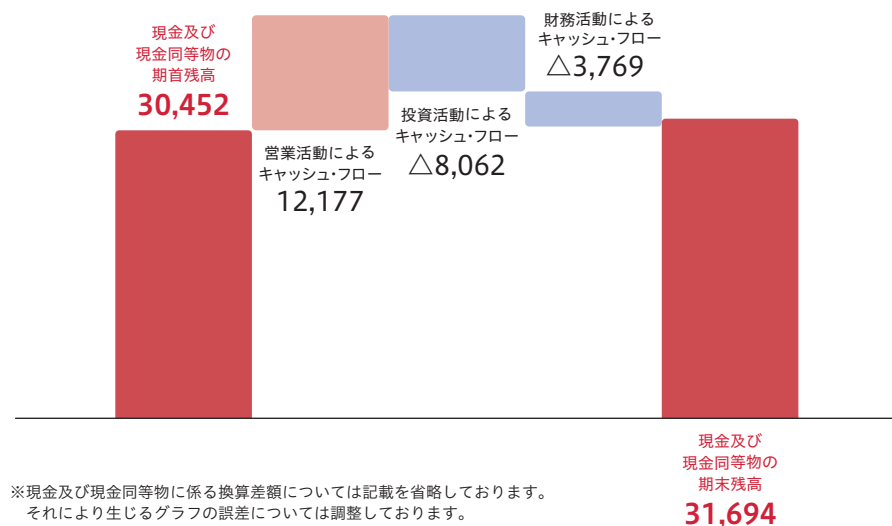
純資産

純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて6,586百万円増加しました。これにより自己資本比率は、64.0%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当連結会計年度(2014年4月1日から2015年3月31日まで)



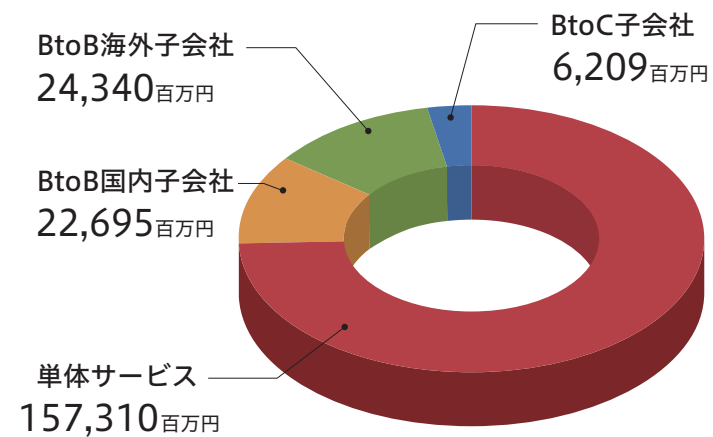
※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことなどにより、前連結会計年度と比べ3,255百万円収入が増加しました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が増加したことや投資有価証券の売却による収入が減少したことにより、前連結会計年度と比べ3,779百万円支出が増加しました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が減少したことにより、前連結会計年度と比べ4,515百万円支出が減少しました。

セグメント別売上高

当連結会計年度(2014年4月1日から2015年3月31日まで)



注)セグメント間取引消去等△11,378百万円は含まず

単体サービス

当社のコンタクトセンターサービスなどを中心としたワンストップのアウトソーシングサービス事業

BtoB国内子会社

国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoB海外子会社

海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

BtoC子会社

消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

CSR活動のご報告

厚生労働省の「均等・両立推進企業表彰」均等推進企業部門にて「東京労働局長奨励賞」を受賞

当社は、厚生労働省の2014年度「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門において、「東京労働局長奨励賞」を受賞しました。均等・両立推進企業表彰は、女性の能力を発揮させるための積極的な取り組み（ポジティブ・アクション）や、仕事と育児・介護との両立を支援する取り組みについて、他の模範となるような活動を推進している企業を表彰する制度です。そして今回受賞した均等推進企業部門の東京労働局長奨励賞は、地域において、女性の能力発揮を促進するための取り組みを推進していると認められる企業に授与されます。



受賞理由

1 ポジティブ・アクション 取り組みのきっかけ、体制作り

- 2007年：副社長をトップとした「女性活躍推進プロジェクト」発足
2008年：「女性が積極的に活躍できる魅力ある企業風土の創造を！」をスローガンに、1) 女性社員の能力開発・キャリア開発支援 2) 社内の意識改革・広報活動 3) 働きやすさ支援の3本柱を中心に取り組みを推進

2 ポジティブ・アクション 取り組みの内容：認知期と理解拡張期に分け各取り組みを促進

- キャリア開発支援として、女性のマネジメントスキル向上、キャリアへの意識付け、管理職人材の育成支援を目的とし、2007年から選抜型能力開発研修（キャリア塾）を実施
- 2008年からは、キャリア塾ベーシック（次世代管理職候補）、キャリアバリュー（次世代管理職候補）と対象を広げ、各育成研修、ネットワーク作りを実施
- 意識改革・広報活動として、専用サイト「cosmos★net」による情報発信、社内報での活動報告による啓蒙
- 働きやすさを支援する取り組みとして、育児支援イベントなどを開催しコミュニティ形成を支援、また支援ニュースを提供しワーキングマザーを支援

3 ポジティブ・アクション 取り組みの成果：女性管理職（特に部長職）が年々増加

当社は、今後も従業員のワークキャリアとライフキャリアが両立できる職場環境の整備に積極的に取り組んでまいります。

渋谷区立上原中学校で「福祉体験学習」出張授業を実施

当社は、「地域に根ざしたCSR活動」を掲げ、社会福祉法人 渋谷区社会福祉協議会と連携し出張授業を実施しました。当社の手話通訳士の社員がダイバーシティの視点から講義を行い、生徒の皆さんには手話での「自己紹介」を体験してもらいました。（2014年11月6日実施、86名の生徒が参加）



講義



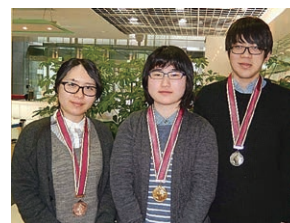
手話の指導



手話での「自己紹介」体験

第13回東京アビリンピック/DTP競技：金賞・銀賞・銅賞受賞、ワード・プロセッサ競技：金賞受賞

第13回東京アビリンピック（第13回東京障害者技能競技大会）で、当社社員3名がDTP競技に、特例子会社トランスコスモス・アシスト※社員1名がワード・プロセッサ競技に出場し、4名全員が入賞しました。



DTP競技の受賞者



受賞メダル



ワード・プロセッサ競技の受賞者

※トランスコスモス・アシストは、2005年4月にトランスコスモスの特例子会社として、障がい者の雇用促進を目的として設立されました。自閉症・発達障がい者を含めた知的障がい者を積極的に雇用し、障がい者がその持てる力を十分に発揮できる適切な就労の場を創造、積極的な社会参加を支援するとともに、社員の可能性を大切に育てる環境づくり（共働）に取り組んでいます。

会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	(トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	単体: 8,432名 グループ: 15,995名
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行
本社	東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
大阪本部	大阪府大阪市西区土佐堀2-2-4 土佐堀ダイビル 〒550-0001 TEL.06-4803-9500 (代表) FAX.06-4803-9590

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	16,167名

大株主の状況 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
公益財団法人奥田育英会	1,753	3.59
平井 美穂子	1,463	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,380	2.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,116	2.29
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	914	1.87
有限会社HM興産	722	1.48
トランス・コスモス社員持株会	613	1.26
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	559	1.15

注) 1. 上記のほか、当社が自己株式7,654千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2015年6月24日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一 向井 宏之
専務取締役	森山 雅勝 永倉 辰一 牟田 正明
上席常務取締役	高野 雅年 本田 仁志 白石 清
取締役	Ralph Wunsch
社外取締役	夏野 剛※ 吉田 望 宇陀 栄次※ Owen Mahoney※
常勤監査役	石岡 英明 下總 邦雄
監査役	中村 敏明※ 山根 節夫※
常務執行役員	貝塚 洋 山喜 和彦 中山 国慶 河野 洋一 緒方賢太郎 小野 敦史 松原 健志
執行役員	内村 弘幸 長谷川 勉 井上 博文 宮澤 範充 山下栄二郎 谷川 弘樹 森田 祐行

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都杉並区泉和二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.trans-cosmos.co.jp

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

●ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



トランスコスモス株式会社

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
<http://www.trans-cosmos.co.jp>

トランスコスモス通信は、ノーマライゼーション推進部(当社の障がい者雇用部門)がデザイン・制作をしています。

